

(第2号様式)

那み支第1922号  
令和6年 3月8日

沖縄県教育委員会教育長 殿

沖縄県立那覇みらい支援学校  
校長 新垣 ゆかり  
(公印省略)

令和5年度県立学校学校評議員の運営状況について(報告)

令和5年12月12日付け教県第1744号により依頼のありましたみだしについて、下記のとおり報告します。

記

1 日時、場所、出席状況等

| 回数  | 日時                          | 場所   | 出席状況 | 出席者                        |
|-----|-----------------------------|------|------|----------------------------|
| 第1回 | 令和5年7月12日(水)<br>10:00~11:20 | 校長室他 |      | 評議員(4名)、校長、教頭、事務長、主幹教諭、部主事 |
| 第2回 | 令和5年12月13日(水)               | 校長室他 |      | 評議員(4名)、校長、教頭、事務長、主幹教諭、部主事 |
| 第3回 | 令和6年2月14日(水)<br>10:00~11:30 | 校長室  |      | 評議員(4名)、校長、教頭、事務長、主幹教諭、部主事 |

2 学校評議員に求めた事項

- 1 本校の学校運営について  
①本校の学校概要 ②各学部(フロアー)の取り組みについて ③進路指導について
- 2 学校見学(授業・みらいカフェ・ゆめ水族園等)
- 3 学校給食の試食
- 4 学校評価(外部評価)
- 5 本校の教育に期待すること

3 学校評議員の意見

- 忙しいことや長時間勤務の職員が多い原因を把握し、解決策を考える事が課題である
- 一人一人の人権の尊重について職員が共通理解することが大切
- 知的・肢体不自由・病弱と多様な障害種の生徒の対応について、どちらにとってもメリットのある活動が大切
- 学校の様子を保護者・地域へ発信することで理解を深める
- PTA活動の活性化を図り、保護者とおしのつながりを作ってもらいたい
- 新設校であるため、はやめに防災関連・避難訓練等の充実に取り組んでほしい

4 学校運営に反映した事項

- 5校の近隣県立高等学校との交流会を持ち、多様な障害種のある本校の実情の理解に努めた。
- マチコミによる保護者への情報発信や体育祭・みらいカフェ等を通して地域との繋がりに努めた。
- 夢水族園開催と並行してPTAの活動を取り入れることで効果的な活動および学習へ繋げることができた。
- また、PTAと合同での進路学習会を数回開催することができた。
- 今年度、防災モデル校としての取り組みを通して、避難場所・備蓄品の確保・避難時のルールなど基本的なものを作成し、職員と共通確認を行うことができた。

5 課題その他

- 多様な障害種に対する効果的な学習活動